

低温処理によるフクトコブシの人為三倍体作出 (英文)

工藤真弘・荒井克俊・藤野和男

本研究内容は日本水産学会誌に掲載されているため、論文要旨のみを記載した。

【要 旨】

低温処理によってフクトコブシの三倍体を作成するため、初期発生を観察し、接合子の処理条件を検討を行った。水温 25℃ では、第一、第二極体の放出および第一卵割は、それぞれ受精後 5 分、20 分および 40 分に生じた。受精 6 分または 15～18 分後から接合子に対して、それぞれ 10～15 分間、3℃ の低温刺激を加えたところ、いずれも高い三倍体化率が得られ、それぞれ第一および第二極体の放出阻止によるものと推定された。処理水温 3.6 および 9℃ の場合、三倍体化率では著しい差は見られぬ一方、正常幼生の出現率では 9℃ が最良の結果を示した。

日本水産学会誌, 57 (7) : 1263-1257 (1991)